

# 農地・水保全管理活動組織の活動瓦版

## 各保全会で『田んぼまわりの生きもの調査』を実施しました

仁良川の里保全会が7月28日(土)、笹原地域環境保全会が29日(日)に、地域にどのような生きものが生息しているのかを調査するため、育成会や自治会の協力を得て、『田んぼまわりの生きもの調査』が実施されました。

調査中、子供達は草むしりになりながら生きものを採取し、コイやフナ・ナマズ・オイカワ・カマツカ・スジエビなどを捕まえることができました。



笹原地域環境保全会  
JA小山国分寺支店ライisce  
ンター周辺にて調査

## 仁良川の里保全会 江川用水にて調査



この調査は、地域の生きものの生息状況を把握し、採取した生きものについて、講師から説明を受けることで、子供たちが身近な水路等にも多くの生きものが生息していることを学び環境への関心を高める場にもなっています。また、各活動組織からの報告に基づき、結果が取りまとめられ、県下の水中の生きものの生息分布状況や絶滅危惧種の有無などにも役立てられています。

### ■ 問い合わせ先

農政課 ☎(48) 2143

しもつけクイズ

問1 食中毒は一年中発生する。○か×か？

貴重な植物を皆んで守ろう！

## 下野市トウサワトラノオ保存活動 ― 保全地の草刈り ―

下野市トウサワトラノオ保存会の活動が本格化し、7月15日(日)に保全地を管理している東根自治会主催で草刈作業が行われました。

当日は小山北桜高等学校、下野市自然に親しむ会、南河内土地改良区などの保存会会員 26名が集まり、小山北桜高等学校の小林先生にトウサワトラノオの生態についての説明を受け、その後草刈り作業となりました。

草刈作業には、小山北桜高等学校の学生も参加して暑い中半日かけて、保全地をきれいにしました。



生態についての説明



草刈り作業

草刈を行うことにより、雑草の成育を抑制し、トウサワトラノオが成長しやすい環境作りをすることができま。草刈作業は年内あと2回実施されます。

### ■ 問い合わせ先

農政課 ☎(48) 2143

### トウサワトラノオとは？

サクランボ科の多年草植物で、長さ20〜40センチ程度の茎を持ち、湿地に群生しています。5〜6月にかけて、大きさ1センチ程度の白い花を咲かせます。環境省レッドデータブックでも最高ランクの絶滅危惧種に指定されています。

